

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：企業立地対策費

事業名【新】テクノプラザものづくり支援センター用地取得費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業デジタル推進課 IT拠点活用推進係 電話番号：058-272-1111(内3723)

E-mail：c11356@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 269,853 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	269,853	0	0	0	0	0	0	0	269,853
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

テクノプラザものづくり支援センター第1別館駐車場、第2別館及びベンチャーファクトリーの底地については、現在、県土地開発公社(以下、「公社」という。)から賃借している。県有施設が借地上に建っているため、万が一賃貸借契約が解除された場合に、建物を売り払う必要がある等、不安定な状態に置かれているため、当該用地を取得し、県有地とするもの。

(2) 事業内容

スケジュール(案)

令和5年度中：公社と土地価格協議

令和6年4月：不動産購入に係る総務部長合議(財産評価委員会審査)・事前決裁

5月初旬：土地売買契約締結(5月末日ごろ入金)

6月初旬：(入金確認後速やかに)公社が所有権移転登記を実施

7月1日：土地引渡し

※4月1日～6月30日までは引き続き賃借。

(3) 県負担・補助率の考え方

全額県負担

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
公有財産取得費	269,853	土地購入費
合計	269,853	

決定額の考え方

土地の賃貸借契約でも施設機能の提供に特段の支障が無いことから、土地取得費の計上を見送ります。土地賃借料はこれまでどおり1年分の賃借料を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

<岐阜県経済・雇用再生戦略>

2 「DX」・「GX」推進加速化プロジェクト

<新たなビジネスモデルの創出支援>

(1) ソフトピアジャパン・テクノプラザの機能拡充・連携強化

○ IT企業の集積拠点である「ソフトピアジャパン」と、産業のデジタル化や新産業創出を目指すものづくりの総合拠点である「テクノプラザ」との連携を強化し、新たなビジネスモデルの創出に向けそれぞれの強みを生かした総合的な支援を推進する。

(2) 国・他県の状況

—

(3) 後年度の財政負担

無し

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設の底地を取得する事業であるため、県が主体となることが妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

スケジュール（案）

令和5年度中：公社と土地価格協議

令和6年4月：不動産購入に係る総務部長合議（財産評価委員会審査）・事前決裁

5月初旬：土地売買契約締結（5月末日ごろ入金）

6月初旬：（入金確認後速やかに）公社が所有権移転登記を実施

7月1日：土地引渡し

※4月1日～6月30日までは引き続き賃借。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

用地取得に係る事業費であるため。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	借地上に県有施設が建っている状態が解消されるため、現在よりも安定的に施設を保有することができる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方角性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	